

① 	② 
<自立活動の六つの区分> 身体の動き	<自立活動の六つの区分> 環境の把握、身体の動き
ねらい：絵の理解、視覚記憶（体育）	ねらい：目と手の協応、手指の巧緻性、視空間の理解（職業家庭）
「器械・器具を使った運動」 身体の動きを動物歩きに例え、身近な動物のイラストを表示することで、動きをイメージしやすくするため。	タオルたたみ作業で、生徒が自分で検品できるジグ。丸い枠の中にタオルの角がすべて収まっていれば良品、はみ出ていれば不良品になる。
③ 	④ 
<自立活動の六つの区分> 身体の動き	<自立活動の六つの区分> 環境の把握、身体の動き
ねらい：目と手の協応、手指の巧緻性	ねらい：目と手の協応、手指の巧緻性、数の理解、色の理解
バックルの練習 リュックのバックルを一人で外すことを目標として作成した。	かず・いろ・かたちの学習 「1～5」や「1～10」の数の理解を、色や形の弁別等も絡めて学習するための教材。

⑤ 	⑥ 
＜自立活動の六つの区分＞ 環境の把握	＜自立活動の六つの区分＞ 環境の把握、身体の動き
ねらい：概念の形成、色の理解	ねらい：目と手の協応、手指の巧緻性
同じ色の箱に色板を分けいく。色の違いをはっきりさせることで、同じ色という概念を学ぶことができる。	ボタンを留めたり、外したりする練習。指先でボタンをつまむことで、手指に巧緻性につながる教材。
⑦ 	⑧ 
＜自立活動の六つの区分＞ 環境の把握、身体の動き	＜自立活動の六つの区分＞ 環境の把握、身体の動き、人間関係の形成
ねらい：手指の巧緻性、色の理解	ねらい：摂食指導
色を塗る場所を強調できる。台紙に厚みをつけることで、どこまで塗るのか枠を意識することができる。はみ出して塗ってしまっても台紙を外すと輪郭がはっきりとっていて達成感を得ることができる。	「歯ブラシを使った口腔マッサージ」 嚥下に必要な、口腔内の動きを引き出す。頬の脇に落ちた食べかすを舌上に戻す動きを引き出す。 奥歯で咀嚼するための、舌、下顎、頬の協調運動の基礎となる動きを引き出す。

⑨



＜自立活動の六つの区分＞

環境の把握、身体の動き

ねらい：ボディーイメージ

「くものすくぐり」

市販の布団干しにゴム紐を貼って作製。4面、難易度が違う。引っかかることで、ボディーイメージを形成したり、体の使い方を覚えたりする。